



平成 23 年 2 月 14 日

各 位

会 社 名 株式会社 ジェイホーム
代表者名 代表取締役 加藤 篤彦
(J A S D A Q ・ コード 2 7 2 1)
問合せ先 管理本部長 高森眞子登
電 話 0 3 - 6 4 3 0 - 3 4 6 1

特別利益の計上および業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、特別利益の計上および平成 22 年 7 月 29 日付「平成 22 年 12 月期 第 2 四半期累計期間及び通期の業績予想の修正に関するお知らせ」にて発表いたしました平成 22 年 12 月期（平成 22 年 1 月 1 日～平成 22 年 12 月 31 日）の業績予想について、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 特別利益の発生およびその内容

当期において、4 百万円の特別利益を計上いたします。その主な内容は以下の通りです。

貸倒引当金戻入額（4 百万円）

過年度に計上した貸倒引当金の戻り入れにより、貸倒引当金戻入額を計上するものであります。

なお、平成 22 年 12 月 29 日付「固定資産の譲渡等及び特別利益の計上に関するお知らせ」にて発表いたしましたとおり、当社が所有するフットサルコート「FUTSAL POINT SALU 川口」の店舗を J F C ㈱に譲渡し、これと交換で J F C ㈱が運営する「FUTSAL POINT SALU 相模原」を当社が取得いたしました。これに伴い固定資産売却益 4 百万円を計上しており、当事業年度における特別利益は合計 9 百万円となります。

2. 業績予想の修正について

平成 22 年 12 月期通期業績予想数値の修正（平成 22 年 1 月 1 日～平成 22 年 12 月 31 日）

(1) 修正の内容

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株あたり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 947	百万円 12	百万円 5	百万円 5	円 銭 426.05
今回発表予想(B)	870	△ 3	1	9	676.08
増減額(B-A)	△ 77	△ 16	△ 4	3	—
増減率(%)	△ 8.2%	—	△ 80.0%	58.7%	—
(ご参考) 前期実績 (平成 21 年 12 月期)	750	△ 87	△ 95	△ 103	△ 9,617.88

(2) 修正の理由

当社を取り巻く住宅関連業界におきましては、市況の本格的回復には至っていないものの、

住宅ローン減税、贈与税の軽減措置の拡大および住宅エコポイント制度など諸施策を背景に、新設住宅着工戸数は持ち直す状況となっております。

当社では、当社が提供する完全外断熱工法による高気密住宅を中心としたフランチャイズ展開に加え、今後需要拡大が見込まれるエコ関連商品「外断熱＋太陽光発電＋オール電化」を拡充し、競争力強化に取り組んでまいりました。また、大手メーカーの協力会社として、戸建住宅向け外壁工事の売上高も好調に推移いたしました。

一方で、フットサル施設の店舗展開と致しましては、既存の3店舗に加えて、4店舗目となる「マリノスフットボールパーク東山田」が5月よりオープン致しました。しかしまだ地元へ密接に根付いた営業活動が達成できておらず、売上に大きく貢献するまでには至りませんでした。また、12月29日にSALU川口の店舗をJFC(株)に譲渡し、これと交換でJFC(株)が運営するSALU相模原を当社が取得いたしました。

事業別の状況は次のとおりであります。

①住宅F C事業

住宅F C事業におきましては、新たな加盟システムの導入により、新規加盟店数が29店(修正後年間予想27店)となりました。加盟店数の増加目標は達成できたものの、既存加盟店の上棟確定数が思うように進まず、変動ロイヤルティ収入が低調に推移いたしました。

この結果、売上高は、1億6百万円(前回予想比14百万円減)となる見込みであります。

②住宅資材販売事業

住宅資材販売事業におきましては、太陽光発電、オール電化などのエコ関連商品の拡充、また建材販売として行う戸建住宅向け外壁工事及びその他建設工事の積極的な受注活動などをおこないました。しかし反面F C加盟店向けの販売高が低調に推移したこともあり、売上高は、6億11百万円(前回予想比52百万円減)となる見込みであります。

③スポーツ事業

景気低迷が長期化する中、誰でも気軽に楽しめるフットサル、サッカーの需要に対し、既存3店舗のフットサルコートのリENTAL収入は、ほぼ計画通りに推移しました。フットサル大会、フットサルスクールなどの各種イベントを開催し、いずれも大きな反響をいただきました。

しかし、フットサルコート4店舗目となる東山田店によりスポーツ事業全体の売上高は伸びたものの、東山田店が地元のお客様に広く認知されるまではしばらく時間を要している段階にあります。

この結果、売上高は、1億51百万円(前回予想比12百万円減)となる見込みであります。

(注) 上記の業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する前提に基づいており、実際の業績は様々な要因によって異なる可能性があります。

以 上